

- 1 コロナ禍における甲南大学FD活動
- 2 教育学習支援センターによるWebを活用した授業のためのFD支援活動
- 3 学部・センターの授業実践事例報告
- 4 2020年度甲南大学FD委員会活動報告

1 コロナ禍における甲南大学FD活動

甲南大学FD委員会委員長 高龍秀

2020年春から新型コロナウイルス感染症が深刻化し、甲南大学でも2020年度前期授業について急遽オンライン授業とすることが決まった。甲南大学FD委員会は全学教育推進機構の共通教育センターおよび教育学習支援センターと共同開催で、2020年3月31日と4月6日、同年6月18日と19日、同年8月28日の計5回にわたり、オンライン授業の準備に必要な事を広範に提案するFD講習会を実施した。ここでは甲南大学で利用可能なオンライン授業関連ツールの活用をはじめとしたTipsに関するFD講習会として、また各先生の取り組みを情報共有する内容として実施した。5回のFD講習会で講師をされた先生方と各センターのご尽力により、数多くの授業をオンライン授業とするためのノウハウが提供され、また30近いTips集が教育学習支援センターのホームページからアクセス可能となり、FD講習会の映像資料も同ホームページで視聴可能となった。このようなサポートと各教員のご努力下、2020年度前期のすべての授業をオンライン授業として提供することができた。すべての関係者の皆様にご心より感謝したい。

このように2020年度に急遽オンライン授業となった前期授業について、授業改善アンケートもMyKONANによりオンライン形式で実施した。2020年度前期授業改善アンケート結果を前年度と比較すると、2020年度前期ではオンライン授業となる中で、①シラバスを十分読んだという回答が増加し、②授業を全回出席したという回答が、2019年度前期53.5%から80.6%と大きく増加した。③毎回の平均予習・復習時間も2019年度の2.12から2.97に増加した(30分は2、1時間は3)。以上のことから、オンライン授業において学生が比較的意欲的に授業に取り組んだことが理解できる。

2020年度前期と2019年度前期授業改善アンケート結果の比較 (上段は2020年度・下段は2019年度)

この授業の履修にあたり、シラバスを読みましたか？

十分読んだ	ある程度読んだ	ない	あまり読んでいない	読んでいない	あることを知らない
31.9%	55.1%	10.9%	1.9%	0.3%	
21.9%	47.5%	21.7%	7.4%	1.4%	

この授業をどのくらい休みましたか？

0回	1~2回	3~4回	5~7回
80.6%	16.2%	2.8%	0.4%
53.5%	35.8%	9.7%	1.1%

毎回平均してどれくらいこの授業の予習、復習または課題のために時間を使いましたか？

2時間以上	1時間30分程度	1時間程度	30分程度	0時間	平均
12.4%	17.2%	33.2%	29.2%	8.1%	2.97
6.6%	7.6%	16.1%	31.0%	38.8%	2.12



また、「教員の授業への意欲や熱意は伝わったか」「教員の話し方(スピード・聞き取りやすさ)はわかりやすかったか」という質問では、「そう思う」「分かりやすかった」という回答が増加し、Web活用授業においても教授法は大きな問題なく実施できたと判断できる。

「この授業に意欲的に取り組んだか」「総合的にみてこの授業は満足できるものだったか」という質問でも肯定的な回答が増加し、急遽の授業オンライン化の中でも、教員と学生の努力により、大きな問題なく授業が実施されたことと理解できた。

しかし課題としては、教員への質問に関して「質問したことがない」という回答が、2019年度20%から25.8%に増加したことがある。つまりオンライン授業において一方向の授業形態のみならず質問・回答のやり取りを改善する必要があると確認できた。また、予習・復習時間が増えたが、学生の立場から見ると複数の履修科目でレポート課題が時期的に集中する事例もあり、これを回避することも今後の検討課題になるだろう。

以上に述べた大学FD委員会の取り組みと共に、学部・センターでも積極的なFD活動が展開された。今後感染症の状況を見ながら、対面授業とオンライン授業の並行実施、リアルタイム遠隔授業とオンデマンド型授業など多様な授業形態を実施しながら、大学全体としての教育の質保証と学生の知的成長を進めていかなければならない。2020年度の経験を貴重な財産として改善を図りながら教育の質向上を進めていきたい。

2 教育学習支援センターによるWebを活用した授業のためのFD支援活動

全学教育推進機構事務室教育学習支援センター 深堀太博



全学教育推進機構教育学習支援センターは、COVID-19感染拡大防止策の一環として、「授業対策会議」のもと、Webを活用した授業(以下Web活用授業)実施に際し、教職員の支援を行う役割を一手に引き受けることとなった。前掲のFD講習会開催やTips作成に加え、Web活用授業にかかわる様々な業務、たとえば日々の電話やメールによる各種問い合わせへの対応、授業実施に必要となるソフトウェアや機材の調達・利用支援、5号館3階のサイバーライブラリ内にある教室等を用いた授業コンテンツ作成支援、対面授業開始後は、サイバーライブラリ利用教職員や学生のIT環境活用支援など、極めて多岐にわたる対応を実施した。これらについて、その活動の概要を紹介する。

FD講習会は、その内容に応じ、同じ全学教育推進機構に属する共通教育センター教員や教務部の職員の協力を得て、3月から8月にかけて、対面やオンラインの様々な方法を用い、計5回実施した。のべ700名程度の教職員の参加があった。内容面では、Web活用授業については、オンデマンド型とリアルタイム型の甲南大学としての定義づけに始まり、大学設置基準にある「メディアを活用した授業」の5つの要素(「授業内容を伝達する」「学生が課題等に取り組む」「課題の添削指導を行う」「質疑応答の機会を設ける」「学生同士の意見交換の機会の確保」)の紹介、対面授業ではそれほど気にする必要がなかった、授業内で使用する資料の著作権の取り扱い、といった、いわば法令案件について説明を行った。

さらに、学生のポータルサイトMyKONANを活用し、学生に向け「毎日必ずMyKONANを見て、通知事項等の情報を確認してから授業を受講するよう」周知徹底し、学生の学修に関する情報格差が生じないように配慮するとともに、協力を呼び掛けた。その上で、具体的な授業のパターンを模し、動画教材の作成方法、作成したデータの配信方法(Microsoft365サービスにあるSharePointやStreamの操作)、Zoomの活用方法、MyKONANの各機能の使い方などを説明した。6月の講習会では、MyKONANの開発元である日本システム技術株式会社の技術担当者による質疑応答支援も得た。

この講習会のテキストとしても用いたTips集は、当初は3編に分けて発行していたものを、利用者の技術的な習熟が進むのに合わせて、授業で用いる機能別に27編に再編し、学外サイト等のリンクも交え、教育学習支援センターホームページで公開している。

MyKONANやMicrosoft365といった、既に導入されているサービスに加え、双方向コミュニケーションが可能なツールとしてZoomを選定し、学校法人甲南学園全体で利用できるようサイト契約、アカウント管理や利用者支援を実施している。機材は、情報システム室の協力も得ながら、カメラ、收音マイク内蔵型スピーカー、大型モニタ、書画カメラ、ホワイトボード等を集め、サイバーライブラリ内にある教室を簡易スタジオとして3部屋用意した。

これら教室を利用する教員、サイバーライブラリ利用者、各種問い合わせといった対応については、教育学習支援センターの職員に加え、外部委託のスタッフ(今回のWeb活用授業実施に際して配置)の支援を受けつつ、いわば総力戦で対応にあたった。

この1年間、誰もが想像できなかった事態に直面したことで、授業を実施する側、授業を受ける側、双方ともに、Web活用授業という「手段」を得ることができた。偶然の産物ではあるが、このことは、本学の教育のこれからを考えるうえで、大切な知見を得る機会となった。教育学習支援センターにおいて実施している種々アンケート結果や学外でも蓄積されている情報を交えながら、機会を改めて、これらの成果を未来につなげる取り組みを行いたい。

末筆ながら、皆様のご協力に心からの感謝を申し上げます。それとともに、引き続いてのご指導ご鞭撻を賜りたい。



3 学部・センターの授業実践事例報告

心身共に制限がかかった受験シーズンを終え、開放感溢れる新生活を心待ちにしていた新入生にとって入学直後の2ヶ月間登学禁止は辛かったであろう。フロンティアサイエンス学部の新入生には、1年生前期から必修で課せられる化学・生物・物理の全分野にわたる専門実験を楽しみに入学してくる者も多い。それ故、長い巣ごもり期間でせっかくの高いモチベーションが下がってしまうことを危惧した。私が担当している1年生実験「ナノバイオラボベーシックA」の生物学実験パートでは例年前期と後期で行っている実習内容のうち、自宅で実施可能と考えられる部分をピックアップして新たなテキストを作り、実習材料をゆうパックの箱に詰めて「キット化」した。また、滅菌操作の基本に関する操作説明と実験器具の正しい操作法、そして実際の実験手順を動画撮影し、ストリーミング配信した。新入生には自宅で動画を視聴し、テキストを読んで実験を行い、レポート作成してもらった。リアルタイムで学生の様子を見ることができなかったため、全員が実習内容をきちんと理解したか不安はあるが、学生たちからは楽しく学べたとの声をもらい、目的の1つは達成できたものと考えている。

フロンティアサイエンス学部 川上純司

「スポーツ指導論演習における器械運動の事例」本演習は、地域におけるスポーツ活動運営のミニマムエッセンスの教授を目的としている。これにあたりKONANスポーツクラブ(ランナーズ、サッカー、柔道、バドミントン、器械運動)担当教員の指導を、受講生が指導者目線で観察し、「スポーツ指導に関する実践的知識の重要性」に関する気づきが期待されている。しかしながら今年度は、本演習の「実践的学びの場」であるKONANスポーツクラブを開催できなかった。そのため、各種目の担当教員が、担当するスポーツ種目における技術指導に関する実技・演習を行なった。筆者の担当(器械運動)においては、「動きのコツを感じ・身につけることの大切さ」について実技指導を行なった。あん馬、鉄棒において非日常的な運動形態に自ら向き合うことで、受講生自身の「コツ意識」の覚醒をねらいとした。運動を指導するためには、「指導をするための知」(促発身体知)の充実が不可欠であるが、この背景には「自ら学ぶための知」(創発身体知)の充実が不可欠である。コロナ禍に伴い、促発身体知実習という当初の形態は達成し得なかったものの、代案として実施された「指導を前提にした実技実習」(創発身体知実習)は、それなりに有意義な授業形態であったと感じている。

共通教育センター 吉本忠弘

今回は数学科教育法Ⅳの授業について紹介します。数学科教育法Ⅳは選択科目ですが、来年度からは数学の免許取得の必修科目になります。本年度の受講者は、4年生2名で、その2名は教員採用試験に合格し、4月から教壇に立ちます。先日文部科学省は、デジタル教科書の全面使用を発表しました。技術を先取りするために、デジタル教科書と電子黒板の使用の研究を授業で行いました。デジタル教科書と電子黒板に慣れるにはかなりの時間が必要で、授業を構成するとかなりハードルが高いことがわかりました。そこで、学生によるデジタル教科書を使った公開授業を、後期の教職教育センターのFD活動として、教職実践演習(数学・4年次配当・履修者14名)で行うという目標を立て、模擬授業を構成していただきました。公開授業には、センターの教員2名も参加し、講師もいただきました。公開授業後、教職実践演習の受講者もデジタル教科書に興味を持ち、パソコンや電子黒板を触っていました。授業をコラボし、また、いろいろな先生方にご意見をいただくことで大変大きな成果を得ることができました。

教職教育センター 定金浩一



座学形式の情報社会のセキュリティではjavascriptのReveal.jsを利用したhtml形式で資料を配信した(図参照)。この方法はPowerPointとほぼ同等の資料が作成可能、ブラウザのみで閲覧可能、同一の資料がスマホでもPCでも適切に

表示可能、動画も埋め込み可能などの特徴がある。資料は解説音声なしで配信したが、授業改善アンケートでは総合満足度、能力向上寄与の項目とも今年度の方が評価が高かった。この結果は座学形式でも読んでわかるように資料を作成すれば、音声解説は必須でないことを示している。

他方、PCを利用してR言語、Pythonの実習を行うデータサイエンス系の統計活用情報分析I、II、統計基礎IIはクラウド型のRStudio cloud(有料化で後期から利用中止)やGoogle Colaboratoryを用いて自習型として実施した。これらのクラウドの利用により学生の実習環境の整備でのつまづきを回避できた。また資料を実行可能なRソースやjupyter notebook形式で配布することで、サンプルを実行しながら学習を進められるように配慮した。

共通教育センター 吉川歩

「生物学専門実験及び演習I~IV」は、生物学科の3年生を対象とする実験科目です。50名近くの学生が一つの大きな実験室に集まって、火曜日～金曜日の3～5限に実験実習を行います。私の担当は3週間程度です。例年、学生は4～5名のグループに分かれて実験を行い、関連資料やデータベースから情報を集めて課題に取り組み、その成果を発表します。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指滅菌など一般的な対策に加え、学生の実験室滞在時間をなるべく短くし、密集して会話をしなくてもグループ内で十分に意思疎通できるように工夫をしました。まず、全ての実験操作の説明を動画にして、事前に視聴してもらいました。動画は、操作を疑似体験できるように作業者の目線で作成し、内容を確実に理解してもらうため、説明に沿ったWebテストも実施しました。また、MyKONANとSharePointを活用し、グループ内のディスカッションや発表資料の作成を遠隔で行えるようにしました。準備にはかなりの労力を費やすことになりましたが、例年に負けない充実した実験実習を行えたように思います。

理工学部 渡辺洋平

本年度の前期は、すべてWebで講義を行わざるをえず、ディスカッションやグループワークが思うようにできませんでした。その中でも、専門演習Ⅱ(3年生)は毎回全員に簡単な課題を課して、「毎回全員が一回は話す」機会を作りました。また、企業への調査も、直接訪問できなかったため、Zoomを利用してインタビュー調査を行いました。教員と学生、また学生同士の連絡には、LINEでグループを作成して利用しました。後期では直接会う機会も増えましたが、ゼミ旅行などができなかったため、初めての試みとして、Zoomを利用した公立鳥取環境大学の学生との交流会を開きました。内容は双方の学生が工夫し、地理的に離れていても、Webで交流をすることができました。

経営学部 北居明

前期の「地理学の諸問題Ⅱ」や「地誌Ⅰ」といった講義形式の授業はほぼ全てZoomを使ったライブ配信で授業を行いました。基本的に学生はビデオをオンにしないので、真つ暗な画面に話しているような感じになり、少し孤独感を感じますが、一人一人に質問をすると答えてくれます。また、授業中に課題を出して、MyKONANの課題機能で答えてもらったり、クリッカー機能を使って、授業で勉強したことをクイズ形式の問題にして出したりしていました。クリッカーを使うと授業に臨場感がかなり出て面白くなります。出席を取るのもクリッカーを使って、例えば、「以下の中で行ってみたい都道府県はどこですか。」みたいなアンケートに4択で答えてもらい、円グラフの結果をみんなで見えて考察を加えたりしていました。クリッカーの機能は対面授業でも使えるのではないのでしょうか。オンラインの授業では、ほぼパワーポイントのみで内容を伝えることになるので、授業の内容をよりわかりやすく表現するよう工夫し、結果的に授業改善につながったと思います。自分の中でも伝えたい内容をより整理する時間となりました。せっかく作ったパワーポイント資料は今後の授業でも活かしていきたいと思います。

文学部 中辻享

4 2020年度甲南大学FD委員会活動報告

○Webを活用した授業に向けたFD講習会の実施:FD講習会・講義編(3/31)・実践編(4/6)。FD講習会・授業の取り組み事例編(6/18)・MyKONAN活用編(6/19)。オンライン授業のためのFD講習会(8/28 Zoomによるリアルタイム配信、収録し再配信)○オンラインで前期・後期授業改善アンケートを実施○ZoomでFD委員会開催:オンラインアンケートに向けた設問等の検討(7/2):シラバスチェックについて(12/22)。次年度授業に向けたFD講習会実施予定(3/11 3/12)。等

《学部・センター・研究科から4月から10月までに実施された主なFD活動報告》

〈理工学部〉

○教員相互の授業参観(6/23~10/21)○教員による授業参観と授業改善のための意見交換会(9/2)○生物学科の2019年度授業改善アンケート結果に基づくFD検討会(9/7)○授業改善アンケートで評価の高かった講義について機能分子化学科FD検討会(9/7)○2019年度後期授業改善アンケート結果の分析・検討に基づく学生代表者との懇談会(9/9)○物理学科の2019年度後期授業改善アンケート結果に基づく授業改善のための意見交換会(9/16)○学生代表者との懇談会報告及び前期オンライン授業の総括(10/12)。等

〈自然科学研究科〉

○放射線業務従事者講習会(8/21)○高圧ガス安全講習会(オンデマンド方式で随時受講)。等

〈経済学部・経済学専攻〉

○経済学部FD委員会開催(10/28)コロナ禍での前期授業について:2019年度前期と2020年度前期の授業改善アンケートの比較結果の報告及び前期授業についての意見交換会。等

〈法学部〉

○授業参観及び授業検討会(動画視聴9/15~29、検討会9/29)○オンライン授業についての各パート検討会(公法6/23)(刑事法6/25)(民法1 6/12)(民法2 6/16)(政治 6/23)○オンライン授業についての有志懇談会:Teamsで「法学部FD懇談会」開設(4/9)。5/1の第1回Zoom会合から定期的に会合を開催(7/11の第9回まで)オンライン授業について他大学や文科省の動向及び授業の進め方、オンライン機器の使い方などについて情報交換。会議の概要についてTeamsにアップし、全教員にメール送信。最終的に法学部全員に提言。等

〈経営学部・経営学専攻〉

○教育の質的改善につながるリモート授業での工夫について(7/28)○2020年度前期授業アンケートの結果報告(12/8)すべての講義がリモートで行われたが、このことがアンケートにどのように反映しているのか、2019年度前期のアンケート結果と比較しながら検討。等

〈マネジメント創造学部〉

○マネジメント創造学部FD委員会(10/6)授業改善アンケートを用いた授業改善案の検討について、今年度前期授業改善アンケート集計結果に基づき、全体よりも高い数値が出た項目と低い数値が出た項目を整理し、その要因と考えられるものを列挙しながら、継続して工夫すべき点や改善すべき点などを議論。またオンライン授業の影響について分析と議論。等

〈知能情報学部〉

○成績不振者に対する特別指導に関する情報共有(8/3)指導主任の特別指導に関して学部内で情報共有及び今後の指導と対策について議論○授業改善アンケートの分析と活用(9/29)授業改善アンケートの分析及び今後の授業改善のための方策を議論。等

〈文学部〉

社会学科教員による授業の事例発表(3月実施予定)

〈フロンティアサイエンス学部・研究科〉

○ベストレクチャー研修(9/28)昨年度実施した授業改善アンケート集計結果からベストレクチャーを選出し、学部の総合賞、部門賞、及び大学院の総合賞に決定した科目の担当教員による評価のポイント、講義の進め方の工夫等の発表及び質疑と意見交換。等

〈国際言語文化センター〉

○授業改善検討会・FD意見交換会(10/28)授業改善アンケート結果をもとに、評価の高い教員が前期のWeb活用授業について、PPT動画とZoomを利用した授業の録画データに基づき発表、Web活用授業の方法や工夫、改善点について意見交換○第2外国語非常勤講師を対象にオンライン授業について想定される重要事項をQ&Aの形で情報提供及びMyKONANの基本的な機能の使い方について共有(4/11)○外国語教育担当者会議:オンライン授業のためのツールや授業の方法等、授業改善を図るための情報提供及び意見交換。等

〈教職教育センター〉

○新型コロナウイルス感染拡大に伴う授業対応及び情報共有(4/13他):Web活用授業の実施方法に関する情報共有と意見交換○授業改善を図るための制度的取り組みに関する検討会(10/19):授業改善アンケート結果(特に自由記述)とティーチングポートフォリオをもとに、各自の課題等についての意見交換を実施。等

〈公認心理師養成センター〉

○公認心理師養成センター運営委員会(7/21)公認心理師科目成績評価基準について:公認心理師科目25科目の成績評価方針案の共有、意見交換。成績評価の現状把握のためのアンケート案の作成及び内容の検討○「心理演習」「心理実習」の全国状況について情報共有(11/10)。今後の予定:公認心理師科目の成績評価の現状分析及び授業改善アンケート分析結果について意見交換。等

〈共通教育センター〉

○基礎共通科目カリキュラム委員会(4/7他) オンデマンドとZoomを利用した遠隔授業となった共通基礎演習の授業内容の検討。対面形式と同等の質と効果を担保するための運営方法、課題内容、実施時期に関して特に重点を置いて議論○スポーツ・健康カリキュラム委員会(4/7他) コロナ状況下で大きく実施形態に変更を余儀なくされた保健体育科目の実施、運営方法について継続的に議論。等

〈法科大学院〉

○オンライン授業実施状況について(4/27)○拡大FD委員会(8/18)新型コロナウイルス感染症対策のため、授業や定期試験の実施方法を大きく変更したことから、授業アンケートでの学生からの意見も踏まえ、振り返りを行い、後期授業や定期試験の実施に向けた改善点について意見交換○今年度司法試験の傾向について(9/17)○筑波大学法科大学院との遠隔FD懇談会(9/30)2020年度前期オンライン授業を実施したうえでの意見交換○臨時教務・FD合同委員会(11/16)2020年度後期授業参観について。等

さらに詳しい情報・報告はホームページへ!

大学トップ ▶ センター・研究所・図書館 ▶ FD-甲南大学のFDへの取り組み

問い合わせ先

FD委員会ではFD活動やFDニュースについてご意見・ご要望を受け付けています。
 全学教育推進機構事務局 教育学習支援センター TEL078-435-2592(内線2812) MAIL lucks@adm.konan-u.ac.jp